



年頭の挨拶



町議会議長
多賀 勝丸

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことに心からお慶び申し上げますとともに、日頃より議会に対する温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、3月11日に発生しました「東北地方太平洋沖地震」それによって起こった原子力発電所の破壊など、甚大な被害が発生いたしました。

お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災地の一日も早い復興を願うところでございます。また、国内外を問わず自然災害の恐ろしさを感じ知らされた年でございます。

さて、和水町も合併後6年になります。時代の変化は早く、九州新幹線も昨年3月に全面開通いたしました。わが町の方向性を見極める大事な時期であると考えます。和水町におきましては、T P P（環太平洋戦



和水町長
坂梨 豊昭

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春をご家族の皆様で迎えられましたことと、心からお慶び申し上げます。また、昨年中は、町政各般にわたり深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、3月11日の東日本大震災や原子力発電所事故が発生し、未曾有の大被害をもたらしました。和水町からは、町民の皆様のご協力による寄附と、職員15人を現地に派遣するなどの支援をしてまいりました。震災によりお亡くなりになられた方々に、心からご冥福をお祈りするとともに、1日も早い復興を願っております。

さて、国内情勢を顧みますと、T P P問題や税金問題など、国民生活や地域経済に大きな影響を与えるよ

略的経済連携協定」のゆくえ、農業後継者不足、少子高齢化、小中学校統廃合問題等、大きな難問が山積みしております。

小中学校統合につきましては、菊水区域・三加和区域とも地権者の皆様のご理解とご協力により、用地確保ができ議会で用地費を議決したところでございます。

三加和校区におきましては、昨年11月に「くまもとアートポリス事業」を導入し、公平性の高いシステムの活用、同時に専門的見知が優れた設計業者を「くまもとアートポリスコミッショナー」、および「アドバイザー」、わが町より「町長」「教育長」「議会代表」の7人で公開の場で選定いたしました。設計者と一緒になり、和水町の将来像に合致した建設設計ができるものと確信しております。

また、議会としましては、多様化する要望に対し適切に対処しながら、新しい時代の要請に対応することが重要課題であると考え、議員全員で切磋琢磨しながら努力してまいります。

最後に町民の皆様へのご理解ご協力をお願い申し上げますとともに、本年の皆様にとりまして飛躍の年でありますように心から祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

新年あけまして
おめでとうございます



うな難題が残し、不安の絶えない社会情勢が懸念されるところでです。

和水町におきましては、予算全体を見直し、限られた収入で、健全な財政運営に努めてまいりました。基幹産業の農業面では、農家の減少、農業後継者不足など当面の課題を抱える中、新規就農者への助成や農業振興補助事業など、中山間地域の活性化に向けた事業に取り組んでまいりました。

また、少子高齢化が進む中、新婚さん奨励金や高校3年生までの医療費助成、固定資産税の減免など、定住促進対策や各種施策を積極的に展開してまいりました。

昨年3月には、九州新幹線が全線開通し、観光等の振興を図るうえで大きなチャンスと捉え、観光による町づくり事業を推進し、和水町を県内外へ発信しております。10月のねりんピック2011熊本ペタンク交流大会においても、参加者を通じて和水町をPRできたものと思います。

小中学校の統廃合事業におきましては、地権者の皆様のご理解とご協



和水町立病院 院長
志垣 信行

新年あけましておめでとうございます。皆様も、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私は昨年4月和水町立病院の院長に就任し、早いもので9カ月が過ぎました。当時、坂本前院長、戸上前副院長が退職され、私と佐藤医師が赴任しましたが4人の常勤医師のうち2人が交代したことで町民の皆様いろいろなご迷惑をおかけしたと思います。この場をお借りしてご容赦をお願い申し上げます。ただ私たちも月日が経つにつれ、診療や健診を通して患者さんをはじめ多くの人と面識ができ、和水町にとけ込みつつある気がしております。ご迷惑をかけることも少なくなると思います。今年もいろいろな人と出会い、いろいろな場所に足を運んで和水町を更に知っていきたいと思っております。

さて昨年は東日本大震災、福島原発事故にはじまり、円高不景気、ユーロ崩壊の危機、T P P問題など気のめいる話題が多く、日本はどう

力および関係区長様のご支援により計画地の用地確保が完了しました。更に、小中併設型学校建設にあたっては、県の「くまもとアートポリス事業」に参加し、町の代表と建築の専門家による審査を経て設計業者を選定することとしています。既に、三加和区域では設計業者の選定を経ており、菊水区域につきましては、現在、募集要項に基づいて応募を募っている最中で、3月には選定する予定です。なお、跡地活用についても併せて検討してまいります。

和水町が誕生し早6年、長期的な財政運営を視野に入れ、これまで以上に堅実な運営を行い、行財政ともに基盤を構築しなければならぬと考えております。気持ちを新たに、基本理念であります「希望あふれ人と地域が輝くまち」を目指し、全力を挙げて取り組む所存であります。

結びに、町民の皆様には、町政に対するご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。年頭の挨拶いたします。

なるのかと心配する日が続きました。失業率もなかなか改善が見られませんが。唯一なでしこジャパンの活躍が勇気を与えてくれました。しかしこれらの問題はまだ解決しておりませんので、今後も注意深く見守っていかねばなりません。

また医療に関しましては少子高齢化は確実に進み、医療費の高騰も問題になっていきます。和水町も例外ではありません。介護サービスも受けられる人が増え、保険料を支払ってくれる人口は減っているため、介護保険料も増加するのは避けられないようです。

和水町としても町民がたとえ高齢になっても健やかに生活できるように、住民健診や保健師による指導を強力に推し進めています。病気が重症化して治療を行うより、予防や早期治療を行う方が医療費はかかりませんが、何より本人の苦痛が極めて少なくなるのです。昨年は健診受診率65%の目標にあと少し達していませんが、今年こそは目標に達して欲しいものです。町立病院としても最大限協力していく所存です。

最後に、皆様にとりまして本年が幸多き年になりますよう祈念して年頭の挨拶いたします。